

全体的な計画 稲城市立第五保育園

保育理念 (事業運営方針)	<ul style="list-style-type: none"> ひとりひとりの子どもが たくさんの愛情につつまれ 安全で心地よい環境の中で育ち 豊かな経験と教育を受け 人とともに幸せに生きる力をやしなう 子どもを育てる家庭への支援をすともにも すべての子どもが健やかに育つように支援していく 														
保育の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 子育てしやすい環境を地域とともに作り 保護者の気持ちによりそいながら 子どもの健やかな成長発達を援助する 子どもをとりまく多くの大人に愛され あたたかい家庭的な雰囲気の中で人間としての尊厳を守られ 生き生きと活動できる環境をととのえる 安全な環境の中で ひとりひとりの子どもの健康と成長を見守り 身のまわりのことが自分でできる力豊かな感性 自己を発揮できる意欲 態度を豊かな経験を通して育てる いろいろな仲間や自然とふれあう中で 思いやる心やお互いの違いを認め 尊重する気持ちを育てる 地域の人々とともに育ち支えあう保育園として ニーズに合った情報を提供し 地域の子育て家庭を あたたかく迎え 相談事業などさまざまな子育て支援事業をすすめる 			<ul style="list-style-type: none"> ☆発達過程とクラスの相関性 ①保育形態＝全クラス年齢別保育 <ul style="list-style-type: none"> 年齢別保育の中、幼児組は異年齢交流活動(3G/3人組)で散歩・活動等をすすめる 年度後半から、乳児組も異年齢交流を行う ②保育指針の発達段階を踏まえ、年間指導計画を立案し、一人一人の成長段階を踏まえ養護と教育が一体となり保育を展開する 		<ul style="list-style-type: none"> ☆保育所社会的責任 保育理念の基本方針に基づく園運営、人権尊重(児童福祉法)、地域交流(行事への誘い、小中学校との連携)、保育の説明責任、(懇談会、保育参加、個人面談、おたよりの配布)個人情報保護、苦情解決、情報提供(関係機関との連携) 									
	<ul style="list-style-type: none"> ☆保育時間(標準時間認定) 保育時間 7:00～18:00 延長保育 18:01～19:00 			<ul style="list-style-type: none"> (短時間認定) 保育時間 8:30～4:30 上記以外の時間 延長保育 											
	<ul style="list-style-type: none"> ☆地域支援事業＝育児相談・園庭開放・半日保育体験 施設見学等 			<ul style="list-style-type: none"> ☆主な行事 入園式・進級お祝い会・こいのぼり集会・春の遠足・5才お楽しみ会 夏まつり・七夕集会・プール・敬老会・運動会・秋の遠足・調理保育 ひなまつり集会・お別れ遠足・お別れ散歩・お別れ会食・交通安全教室・卒園式・懇談会(年2回)・誕生会(月1回)・避難訓練(月一回) 											
園目標	<ul style="list-style-type: none"> 家庭的な雰囲気の中で心豊かな子を育てる保育園 ・元気に遊べる子ども ・思いやりのある子ども ・生きる力のある子ども 			職員の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者の心に寄り添い、共感し、ありのままの姿を受け止める保育者。 ・子どもの可能性を信じ、多様性を認めそれを大切に伸ばしてあげられる保育者。 										
クラス目標	0歳児クラス	<ul style="list-style-type: none"> ①園生活を楽しみ、保育士などに関わることで心地良さをを感じ愛着関係を築く ②落ち着いた雰囲気の中で離乳に向けて様々な食材を食べようとする ③のびのびと体を動かすことを楽しむ 		2歳児クラス	保育士や友達との関わりを通じて言葉の基礎ができ遊びが広がる										
	1歳児クラス	安心できる保育士との関係のもとで、自分でしようとする気持ちが芽生える		3歳児クラス	保育士や友だちと遊ぶ中で自分のしたいこと、言いたいことを言葉や行動で表現する										
0歳児では3つの視点「健やかにのびのび育つ」「身近なものと関わり感性が育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」を意識して1歳児以降につなぐ。1歳児からは3歳児までの5領域のねらいや内容に留意しながら3歳児以降では「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」子どもの主体的な生活、自発的なあそびの表出を促しながら幼児期の終わりに育って欲しい姿(10の姿)を見据えて小学校以降の育ちへつなぐ															
保育内容		0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児			
養護	生命の保持	一人一人の生活リズムを大切に、子どもの欲求を十分に満たす		生命の保持	一人一人の快適な生活や生理的欲求を満たし自分でしようとする気持ちを育てる		身のまわりのことが、できる喜びを味わえるように、個々に援助していく		自分でしようとする気持ちを大切に、基本的な生活習慣がほほ身につく		生活に必要な習慣を身につけ、意欲的に生活する		健康や安全等、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけ自主的に生活をする		
	情緒の安定	一人一人の気持ちを受容し共感しながら保育士との信頼関係を築いていく		情緒の安定	子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく		身近な大人との信頼関係を元々に安定して過ごす		保育士との信頼関係の中で自分の気持ちを表し、友だちとかかわりながらあそぶ		友達とのつながりを広げる中で、徐々に自分が発揮でき活動に取り組む楽しさを知る		周囲の人への信頼感を持ち、自分の気持ちを安心して表現し、相手を思いやる気持ちが育つ		
教育	3つの視点	0歳児		5領域		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
	との健育びやつのかびに	<ul style="list-style-type: none"> 身体機能の発達 食事・睡眠等の生活リズム感覚の芽生え 		健康	自分で身の回りの簡単なことをしようとする気持ちが芽生える		生活の中で援助してもらいながら、自分でできたことに喜びを感じる		身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分でしようとする		自分の身体に関心を持ち、異常を感じたら知らせる		バランス感覚が身につく、体全体を使った複雑な動きが出来るようになる。病気やケガから自分の身体を守る		
	通気身持近合なうが人と	<ul style="list-style-type: none"> 特定の大人との深い関わりによる愛着心の芽生え 何語の育みと応答による言葉の芽生え 		人間関係	身近な大人や友達に関心をもち、真似などをしながら、自ら関わろうとする		身近な大人や友達との関わりの中で、一緒に過ごすことの楽しさを味わう		身近な大人や友だちとの関わりの中で、簡単なルールを守ろうとする		友だちと一緒に楽しく活動する中で、ルールの大切さに気づき、守ろうとする		身近な人と親しみ、一緒に活動する中で、相手のことを認め共感していく		
	感と身性関近がわな育り物つ	<ul style="list-style-type: none"> 身近な環境への興味を持つ 身体の諸感覚認識による表現 		環境	探索活動や好きな遊びをみつけ身近な大人と楽しむ		身近な環境に親しみ、興味関心をもつ		身近な自然や動植物に触れ、興味関心を深める		身近な形や遊具に興味を持ち関わり考え、工夫して遊ぶ		日常生活の中で、簡単な標識、文字、数量、図形、時間などに関心を持つ		
食育	食を営む力の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 様々な食品に慣れ、食べることに意欲をもつ 		様々な食材に関心をもち食べようとする		食材に興味をもち、意欲的に食べるようになる		楽しく食べることで、食事の大切さを知る		食べることにより、命と食に関心を持つ		正しい食事のマナーを身につける		正しい食事のマナーを意識する	
	健康支援	健康状態・発育発達状態の定期的継続的な把握、年2回内科医(嘱託医)による健診、歯科検診、異常が認められたときの適切な対応、年間保健計画の作成、健康の記録、0歳児健診(月1回)、							職員の資質向上(研修等)		園外研修(東社協保育部門、子育て支援コーディネーター事業、母子保健関係等)、園内研修(年8回程度)、各プロジェクト会議				
環境・衛生管理	園庭整備 施設内外の設備及び用具等の清掃、消毒 自主点検 子ども及び職員の清潔保持、細菌検査(職員月1回)							保護者・地域・次世代への支援		育児相談、保育参加、保護者面談、クラス懇談会、体験保育(地域)、一日体験保育(保護者)・実習生受け入れ・保育園見学、園庭開放、地域教育懇談会、ボランティアの受け入れ、中学生の体験学習受け入れ、高齢者との交流					
安全対策事故防止	避難訓練(月1回) 防犯訓練 毎日の安全チェック ヒヤリハット報告(朝礼・夕礼) 交通安全教室 救護訓練														